

シンポジウム①

AI×血液浄化

～AIによる血液浄化装置の自動化は可能か～

趣意

近年、自動車の自動運転をはじめ、AIによる自動化における技術の進展がめざましく、血液浄化の分野においてもその技術の応用が期待されています。当シンポジウムでは、AIを活用した血液透析装置の自動化についての展望を、この分野でご活躍されている神奈川工科大学の川崎路浩先生と研究・開発に取り組まれている国内4メーカーの開発担当者の方にお聞きしたいと考えます。

最先端のテーマで大変興味深いセッションになると思います。

ぜひ、ご視聴よろしく願いいたします。

出演者

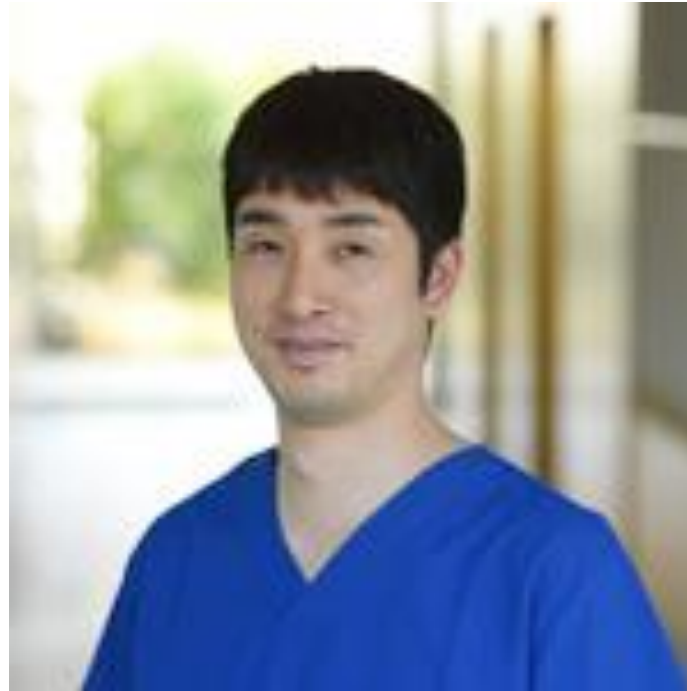
座長 兼 演者	川崎路浩 先生	神奈川工科大学 臨床工学科 臨床工学医療情報研究室 助教
演者 兼 パネリスト	片山雄貴 先生	日機装株式会社
	永井翔 先生	ニプロ株式会社
	伴拓弥 先生	東レ・メディカル株式会社
	山澤博一 先生	株式会社ジェイ・エム・エス

【演者 兼 座長】

川崎路浩 先生

神奈川工科大学

臨床工学科 臨床工学医療情報研究室 助教



一言メッセージ

AIという技術は私たちの生活に溶け込みつつあります。しかし、医療においてはまだまだ発展段階だと思われます。本セッションでは血液浄化分野におけるAI利用の可能性と展望について、透析装置メーカーの方と議論を深めたいと考えております。

【演者】
片山雄貴 先生
日機装株式会社



一言メッセージ

透析療法における膨大な臨床データを活用した技術革新より医療現場のコストを削減し、質の高い治療を利用しやすい形で提供可能とすることが当社における自身の使命だと考えております。

【演者】
永井翔 先生
ニプロ株式会社



一言メッセージ

総合医療メーカーとしてイノベーションを常に意識、医療場の働き方改革を、AIそしてデジタルトランスフォーメーションで支えています。

【演者】
伴拓弥 先生
東レ・メディカル株式会社



一言メッセージ

東レ・メディカル(株)の伴と申します。この度は講演の機会を賜りありがとうございます。
日々変化している国内の透析治療環境における、当社透析装置によるAI活用の可能性と課題についてご報告いたします。何卒よろしくお願い申し上げます。

【演者】
山澤博一 先生
株式会社ジェイ・エム・エス



一言メッセージ

AI活用には皆様の経験が不可欠と考えます。様々な視点からの情報交換・意見交換を、血液浄化のさらなる技術発展につなげていく所存です。